

【担当課】 市民協働課

【検証する取り組み名】 【条例の規定なし】 空き家活用×移住・定住について

	平均	委員評価欄				
◎取組推進方針	3.2	【内容/スケジュール/方向性】取組内容について、目的達成、課題を解消していくことができそうか。				
◎取組状況など	3.0	【取組んだ内容/実績】取組んだ内容及び実績について、目的が達成できたか。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>市民の役割、市民ができること</th> <th>行政の役割、行政がやるべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>①地区ごとに移住定住委員会を作って取組を進めてもらいたいです。</p> <p>②移住者を受け入れる気持ちで信頼関係を築くことが大切だが、専門家の助言が必要な場合がある。</p> <p>移住者との日ごろの付き合いの中で、自治会加入への必要性を示していく。(防犯・防災など)</p> <p>③人口減少社会の中で、地域人口の確保は、市の活性化にとって避けて通れない。地域としてもこのことに危機感と関心を持ち、定住者の増加と定着のために何ができるか考え、その受け皿づくりに寄与できるとよい。その意味で、日吉・大湫・釜戸町で、空き家対策協議会が発足し活動しているのは大変参考となる。</p> <p>④空き家・空き地バンクへの登録を地区でもっと働きかける必要がある。(空き家が増えて、不気味、心配と嘆いてはいるが、何も動いていないのが現状)</p> <p>⑤人口の増加のために、地域としても空き家バンク登録への推奨に取り組んでいただきたいです。</p> </td> <td> <p>①空き家バンクの制度を全面的に見直してほしい。</p> <p>②空き家バンクについて、市民の安全、安心の面から、専門家によるご指導を加えていただきたい。</p> <p>③やはり行政側の発信がポイント。移住PRのポータルサイトやパンフレットはよく考えられている。私達市民としても、市の居住環境や魅力について再発見・再認識することもできる。また、移住者へのいろいろな財政支援も用意されているが、さらに拡充できるとなるとよい。</p> <p>④電車の一両すべてが「いっしょに育つみずなみ」のチャリだったという話を聞き、このインパクトのある工夫・アイデアは大いに評価したい。この冊子もなかなか素敵だった。陶芸(与左衛門)・ゴルフのまち・農業(きなあな納入)への挑戦も興味をひくのでは？</p> <p>⑤移住・定住の促進に事業先等の営業活動を視野に入れた活動に期待します。空き家・空き地バンクの登録物件の増加を図るため、地域にも何かメリットのある施策を講じていただきたいです。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと	<p>①地区ごとに移住定住委員会を作って取組を進めてもらいたいです。</p> <p>②移住者を受け入れる気持ちで信頼関係を築くことが大切だが、専門家の助言が必要な場合がある。</p> <p>移住者との日ごろの付き合いの中で、自治会加入への必要性を示していく。(防犯・防災など)</p> <p>③人口減少社会の中で、地域人口の確保は、市の活性化にとって避けて通れない。地域としてもこのことに危機感と関心を持ち、定住者の増加と定着のために何ができるか考え、その受け皿づくりに寄与できるとよい。その意味で、日吉・大湫・釜戸町で、空き家対策協議会が発足し活動しているのは大変参考となる。</p> <p>④空き家・空き地バンクへの登録を地区でもっと働きかける必要がある。(空き家が増えて、不気味、心配と嘆いてはいるが、何も動いていないのが現状)</p> <p>⑤人口の増加のために、地域としても空き家バンク登録への推奨に取り組んでいただきたいです。</p>	<p>①空き家バンクの制度を全面的に見直してほしい。</p> <p>②空き家バンクについて、市民の安全、安心の面から、専門家によるご指導を加えていただきたい。</p> <p>③やはり行政側の発信がポイント。移住PRのポータルサイトやパンフレットはよく考えられている。私達市民としても、市の居住環境や魅力について再発見・再認識することもできる。また、移住者へのいろいろな財政支援も用意されているが、さらに拡充できるとなるとよい。</p> <p>④電車の一両すべてが「いっしょに育つみずなみ」のチャリだったという話を聞き、このインパクトのある工夫・アイデアは大いに評価したい。この冊子もなかなか素敵だった。陶芸(与左衛門)・ゴルフのまち・農業(きなあな納入)への挑戦も興味をひくのでは？</p> <p>⑤移住・定住の促進に事業先等の営業活動を視野に入れた活動に期待します。空き家・空き地バンクの登録物件の増加を図るため、地域にも何かメリットのある施策を講じていただきたいです。</p>
市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと					
<p>①地区ごとに移住定住委員会を作って取組を進めてもらいたいです。</p> <p>②移住者を受け入れる気持ちで信頼関係を築くことが大切だが、専門家の助言が必要な場合がある。</p> <p>移住者との日ごろの付き合いの中で、自治会加入への必要性を示していく。(防犯・防災など)</p> <p>③人口減少社会の中で、地域人口の確保は、市の活性化にとって避けて通れない。地域としてもこのことに危機感と関心を持ち、定住者の増加と定着のために何ができるか考え、その受け皿づくりに寄与できるとよい。その意味で、日吉・大湫・釜戸町で、空き家対策協議会が発足し活動しているのは大変参考となる。</p> <p>④空き家・空き地バンクへの登録を地区でもっと働きかける必要がある。(空き家が増えて、不気味、心配と嘆いてはいるが、何も動いていないのが現状)</p> <p>⑤人口の増加のために、地域としても空き家バンク登録への推奨に取り組んでいただきたいです。</p>	<p>①空き家バンクの制度を全面的に見直してほしい。</p> <p>②空き家バンクについて、市民の安全、安心の面から、専門家によるご指導を加えていただきたい。</p> <p>③やはり行政側の発信がポイント。移住PRのポータルサイトやパンフレットはよく考えられている。私達市民としても、市の居住環境や魅力について再発見・再認識することもできる。また、移住者へのいろいろな財政支援も用意されているが、さらに拡充できるとなるとよい。</p> <p>④電車の一両すべてが「いっしょに育つみずなみ」のチャリだったという話を聞き、このインパクトのある工夫・アイデアは大いに評価したい。この冊子もなかなか素敵だった。陶芸(与左衛門)・ゴルフのまち・農業(きなあな納入)への挑戦も興味をひくのでは？</p> <p>⑤移住・定住の促進に事業先等の営業活動を視野に入れた活動に期待します。空き家・空き地バンクの登録物件の増加を図るため、地域にも何かメリットのある施策を講じていただきたいです。</p>					
◎改善点、不足する部分など、見直すべきところがあれば、具体的に挙げてください。						
※「2. 取組状況など」の設問に対する評価で1~3を選択された場合、特にご記入ください。						
新しい取組の提案などがある場合、アイデアをご記入ください。		<p>③移住・定住促進パンフレット中、移住された方の「暮らしの通信簿」が載っているが、概ね良い評価が得られているのは何より。もちろん移住された方の年齢や家族構成等によって異なるわけだが、とりわけ子育て世代にとっては教育や医療福祉面が重視されるところで、中にはやや厳しい評価も散見される。その要因を分析し、市の魅力ある住環境づくりに活かしたい。</p> <p>④「こんな古くなった家では、誰も住みたいと思わないし、リフォームするには相当の費用がいる」という判断をして、あきらめることが多い。地元にとずっと住んでいるので、その価値に気づかない場合もある。どんな家がマッチングしたのかの情報があると「へえ、都会の人はこんな所に興味をもつのか？」という新しい見方ができる。</p> <p>移住した人が、次の移住者を呼ぶ、呼んだ場合に5万円分の「みずなみ商品券」を出してでも、そんなサイクルを作ってはどうか。</p> <p>⑥瑞浪市は山間地の多い街です。私は山間地に住んでいますが、道路や木々がもっと整備されていると良いと思います。草刈り(年2回)やごみ拾い(年1回)は区で行っていますが、その回数を増やしたり、刈った草を市で回収してもらう等して、今、住んでいる私たちにとって、良い環境になると、瑞浪市の印象もよくなると思います。</p>				
5つの基本原則のうち特に該当する項目(3. 満足・2.可・1.不満)		<p>【このシートのまとめ】→→→答申の「素材」となる部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域住民が、地域人口の減少に危機感と関心を持つことが大事 ■ 地域が転入者を受け入れる気持ちを持つこと →日ごろの付き合いを通して自治会加入への必要性を示す。 ■ 地域ごとに移住定住委員会などを組織しての取組 ■ 情報発信が重要(現行:ポータルサイト、ポスター、冊子、フォトコンテスト) →新たな情報発信の例 ■ 空き家・空き地バンク <ul style="list-style-type: none"> →地域で登録を促進、制度の見直し(例:専門家の助言、ニーズごとの情報提供、成約済物件の紹介など) 例:ベッドタウン希望者向け、田舎暮らし希望者向けなど ■ 移住定住施策 <ul style="list-style-type: none"> →空き家の利活用促進と新築支援を並行実施するなど、支援対象のストライクゾーンを広く →移住してきた人に・・・「通信簿」の評価が低い項目を分析し、住環境の向上に活用。移住者紹介制度 				
市民主役の原則	2.2					
市民参加の原則	2.2					
協働の原則	2.0					
情報共有の原則	2.2					
効率性の原則	2.2					
自由意見コメント		<p>①ベッドタウンに入る人と中山間地域に移住したい人は思いが違っているので、それぞれに情報提供した方がよいです。</p> <p>②移住・定住者を増やすポスターによる取組は、名古屋に住む親族がインパクトがあったと言いました。熱心な取り組みにより、問い合わせ件数が増えているのはありがたいことです。財政面での支援も必要ですが、瑞浪の良さをもっと発信したいですね。(フォトコンテストいいと思います。)ポータルサイト開設やホームページによる周知は前進だと思っています。</p> <p>③高野先生が示された実践の中に、「都市部の30代の4割が地方への移住希望を持っている」というデータがあったが、本市への相談件数の増加からそうしたニーズのあることを再認識した次第。コロナ禍による職住分離が拍車をかけていることもあり、移住者とりわけ子育て世代の心えることを期待したい。また、空き家バンク登録数についての説明があった。その件数の増えることが望ましいとは言うまでもないが、ただ、空き家物件と移住希望者のニーズとのマッチングの難しさを考えると、空き家を紹介する一方で、新築移住という選択肢とその支援を並行するのもあるかと。空き家の改築・新築のため解体費用の一部を補助するとか、空き地を紹介するとともにその転用・活用・建築に便宜を図るなどの方策もあろうかと。(空き家バンクや移住支援策について不勉強なので的外れかと思いますが敢えて記しました)</p> <p>④「通勤・通学に便利で、美しい家に住みたい」というニーズと「自分の趣味を満喫できる家に住みたい」というニーズでは大きな違いがある。自分の住む陶町の場合は後者で勝負するしか方法がない。この2つのニーズに分けた住まい情報を作ってはどうか？</p> <p>⑤空き家については、どの地域も増加傾向にあるので、空き家バンク登録のみならず、空き家を活用した事例を作り、駅前だけでなく、山里の良さを活かした場所の提供をすることで、移住・定住の促進に繋がればと思います。</p>				
		<p>【現行の支援策の例】</p> <p>空き家等改修補助金、移住促進奨励金 (対象:新築・中古購入者)、東京圏からの移住者への支援金など</p>				
全体評価(平均)	3.1	<p>5.目標が十分に達成され大いに評価ができる</p> <p>4.目標達成に向けた取組ができている</p> <p>3.一部見直しが必要</p> <p>2.全体的な見直しが必要</p> <p>1.取組としての掲載不要</p>				